

皆様こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。福岡新水巻病院が開院して間もなく二ヶ月になろうとしています。救急だけでなく、紹介患者さんも増えてまいりました。開院時にお約束しましたように病診連携は福岡新水巻病院の一つの大きな柱にしたいと思います。

病院にはいろいろな職種があり、今日は医師以外の変わり者を紹介します。まず放射線技師、検査技師。彼らも夜中の救急患者さんの対応のために一緒に当直をしてくれる変わり者です。しかも救急車が入ると救命室まで出てきて患者さんの検査がスムーズに流れるようにと一生懸命協力してくれます。特に放射線技師はCTは当然のこと、MRIも二十四時間対応で、しかも笑顔で撮影してくれます。このような体制で救急対応をできることは院長として大変ありがたいことです。技師と言う位ですから画像のできにもこだわりがあり、新しい3D・CTなど素晴らしい画像を見せてくれます。私が「ウーン、これは面白いね」、と言うと眼をキラキラさせています。

福岡新水巻病院では病院では珍しいと思いますが週に一度全体朝礼があります。そのなかで私が一番好きなコーナーに二分間スピーチというのがあって職員が毎週二人色々な話をしてくれます。自分の趣味、家族の話、昨日の出来事、業務改善のこと、新しい事業のこと、学問的なこと、お笑いの話、失敗した話など。色々学べてためになる話が多いです。渡辺副院長とは二十年近い付き合いがありますが、サックスのうまいのは知ってましたが、リコーダといういわゆるたて笛が本当は一番好きで、此れがまたすごくうまいのです。なお、朝礼で楽器を演奏したのは彼が初めてです。形成の戸島先生はサーフィンが趣味ですがやたらとクラゲについて詳しいとか、整形の金澤先生が美味しい水にこだわってるとか、。あまりここで書くとか喋ってくれなくなるので止めときましょう。学会、研修等の報告では、看護研修会の実習で五人の伝言ゲームをしたら最後の人には全然違う内容になっていたの、情報は口頭で申し送るのでなく文章ですべきというのがありまして大変感動しました。

宴会というのは最近新聞にも出ていましたが、うまく使うとお互いの共通認識をはっきりさせるとか、特に日本人はなかなか本音を言わないので少しアルコールで口を軽くさせてからしゃべらせるとか、こちらの本心を伝えるのに舞台作りをさせるとかの効果があるそうです。私の場合は単にノンバーだと思えますが宴会好きの医局の先生方と共に各部署を盛り上げて行きたいと思います。第二章。

